

TexToolsの特徴

2022年05月28日

HelperTex Office

概要

RestMat社から発売されていたTextToolsはXRD, EBSDのデータからODF解析を行うソフトウェアです。

現在TextToolsをお使いのユーザのサポートを行っています。

読み込むデータはXRDのPOL, ASCフォーマットを読み込み、EBSDでは、OIMフォーマットを読み込む。

XRDデータでは、不完全極点図に適すると思われる。

以前、極点図の範囲に対するODF解析結果を参考にしてください。

<https://helpertex.sakura.ne.jp/Soft/DOC/TextTools/TextTools-PoleErea.pdf>

同一の確認をStandardODF, LaboTexでも確認した。

<https://helpertex.sakura.ne.jp/Soft/DOC/StandardODF/StandardODF-PoleErea.pdf>

<https://helpertex.sakura.ne.jp/Soft/DOC/LaboTex/LaboTex-PoleErea.pdf>

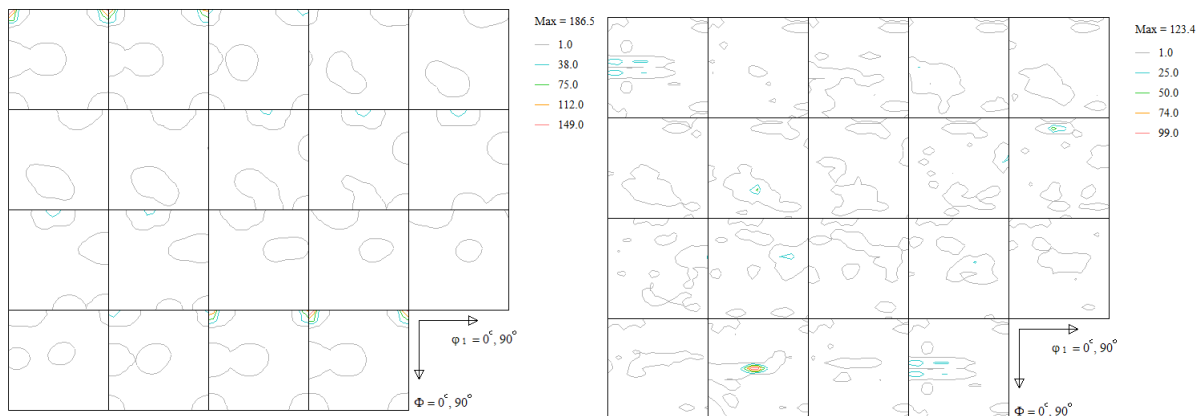
StandardODFやLaboTexでは完全極点図と不完全極点図に差はないがTextToolsでは大きく異なる結果になります。

以下に入力データに関して説明します。

POLデータ

POLデータは、極点図の中心から外側に配置したTXT 2フォーマットで α 軸は0→90測定されていない領域は強度を0として登録する必要があります。

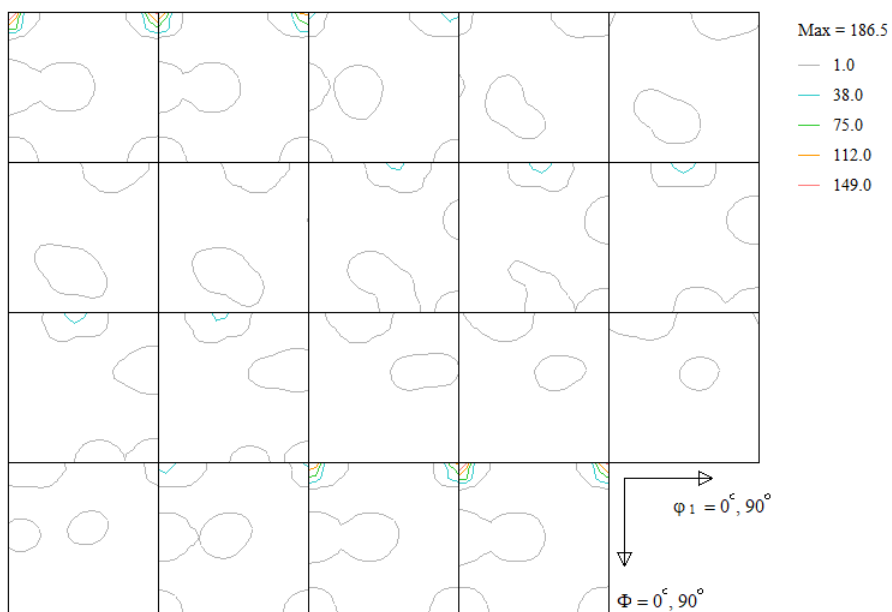
不完全極点図で測定されていない領域0 不完全極点図で測定されていない領域なし（0→75）



測定されていない領域を登録しない場合、計算されるODFの計算異常

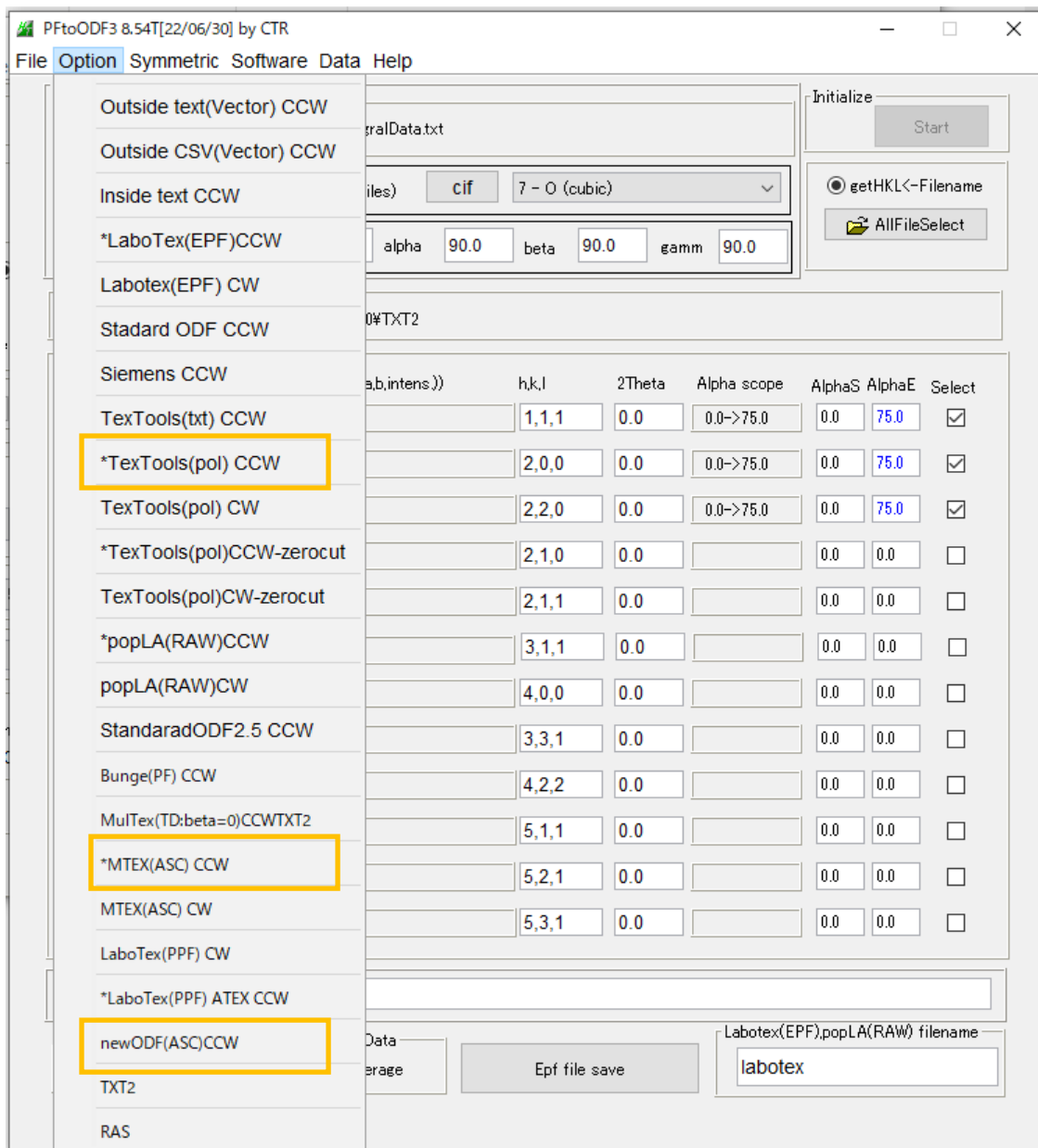
ASCデータ

測定されていない領域登録なし（通常の極点処理を行ったASCフォーマット）



POLデータの測定されていない領域0と一致する。

POLデータASCデータの作成



POLデータは、TexTools (pol) CCWで作成される。

ASCデータは、MTEX, newODFで作成されるが、ValueODFVFを考えるとPOLデータが望ましい。